

(3) ぶどう(ナガノパープル、シャインマスカット) 《 審査日:平成29年9月19日 》

①審査所見

50回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる品種を更に推進するため、「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象に行いました。

本年は、8月以降に曇雨天が続いたため、日照不足により成熟が遅れ、着色や糖度上昇の遅れが懸念される状況でした。

このような状況の中、本年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」43点、「シャインマスカット」42点の計85点であり、例年並みの出品数となったことは、今年度から農林水産大臣賞が褒賞として加わったことや、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力により生産意欲が高まっていることの表れと存じます。

「ナガノパープル」につきまして、出品された果房の多くは、ややゆるめの握り房を意識し30粒程度に摘粒されていましたが、一部に、摘粒不足から果粒が密着し変形しているものや、果房内部に果粒がもぐりこんでいるものも見られました。また、肩部での着粒が不足しているもの、穂軸が湾曲しているものも見られました。

1粒重については、平均で12～13gの果房が多く見られましたが、中には20gを越え、房重600～800gの大房も見受けられました。極端に果粒数を減らして目標果房重に調整している果房も見られました。

樹齢が進んだことにより、果粒肥大が旺盛となっているためか、房づくりに苦労されている様子が伺われます。目標とする房形、果粒重からは逸脱しており、今後の課題と考えられます。

平均糖度は20.5%と高く、食味は良好でした。着色については、果てい部の着色の十分でないものが散見されました。

きれいにブルームの乗っている果実がある半面、ブルームが薄かったり、薬斑の認められたものもありました。袋かけのタイミングが遅いことも、影響として考えられます。

「シャインマスカット」については、全体的に房型のバラツキが目立ちました。果粒が抜けていたり、内側に入り込んで房形が不良の果房もありました。一房内での果粒の大きさは、非常によくそろっている出品物が多くみられました。

障害果として、果頂部裂果、かすり症、サビの発生が認められましたが、ごくわずかでした。また、脱粒はほとんど見られず、減点対象となった房はごくわずかでした。

着色については、房内でのバラツキが見られ房の上下の着色を揃えることが苦労されている様子たことが見受けられました。その中で、上位入賞の出品物は、一房内、房どうしの着色が揃っていました。

平均糖度は18.0%と高く、食味は良好でした。

審査の結果、上位入賞されたものは、房形、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、模範となるぶどうに仕上がっていました。関係者による指導の賜物と拝察いたします。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。本県として統一的な品質向上が図られるよう関係各位のご協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地がますます発展されることをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

ナガノパープル

| 区 分 | 氏 名 | 市 町 村 |
|--------------------|-------|-------|
| 農林水産大臣賞 | 岩城光好 | 須 坂 市 |
| 長野県知事賞 | 田島健 | 千 曲 市 |
| 長野県園芸作物生産振興協議会長賞 | 伊藤秀樹 | 長 野 市 |
| | 駒津祐一 | 須 坂 市 |
| 長野県園芸特産振興展推進協議会長賞 | 中沢忠治 | 須 坂 市 |
| 全国農業協同組合連合会長野県本部長賞 | 松澤恵美子 | 須 坂 市 |
| 一般財団法人長野県果樹研究会長賞 | 押金肅人 | 東 御 市 |

シャインマスカット

| 区 分 | 氏 名 | 市 町 村 |
|--------------------|-------|---------|
| 生産局長賞 | 加藤朋幸 | 飯 田 市 |
| 長野県知事賞 | 竹前陽平 | 須 坂 市 |
| 長野県園芸作物生産振興協議会長賞 | 北村智洋 | 坂 城 町 |
| | 飯塚芳幸 | 上 田 市 |
| 長野県園芸特産振興展推進協議会長賞 | 前澤真由美 | 坂 城 町 |
| | 関野兼一 | 須 坂 市 |
| 全国農業協同組合連合会長野県本部長賞 | 関野兼一 | 須 坂 市 |
| 一般財団法人長野県果樹研究会長賞 | 矢島秀朗 | 小 布 施 町 |